

衛生学・公衆衛生学

M-04-16-L

オーガナイザー

衛生学 藤吉 朗
公衆衛生学 牟礼 佳苗

教員名（衛生学）

教授 藤吉 朗 准教授 東山 綾 助教 竹村重輝 助教 鈴木春満
非常勤講師 永井尚子（愛徳医療福祉センター）
河合俊夫（公益社団法人関西技術センター技術顧問）
森岡郁晴（和歌山県立医科大学保健看護学部・教授）
吉益光一（神戸女学院大学人間科学部・教授）

（公衆衛生学）

准教授 牟礼佳苗 講師 西尾信宏

非常勤講師 竹下達也（和歌山産業保健総合支援センター・所長）
野尻孝子（和歌山県福祉保健部・技監） 坂田清美（岩手医科大学・教授）
吉村典子（東京大学・特任教授）

（教養・医学教育大講座（法学））

教授 神谷隆一

I 授業の目的

個人および集団の疾病予防と健康の維持増進を図るための方法論を学び、具体的に社会に応用する能力を身につける。

II 到達目標

1. 個人および集団の健康の概念を認識し、健康現象が社会・経済および文化のありかたによって変化することを説明することができる。
2. 健康に影響を与える諸要因(host, environment, agent)を明らかにし、疾病予防や健康の維持増進のためには、各要因ごとにどのような介入が可能かを列挙することができる。
3. 生活あるいは職場環境における良好な要因を強化し、不良な要因を制御あるいは排除する理論や技術の原則を説明することができる。
4. 集団における疾病の頻度と分布を既存資料などから正しく解釈することができる。
5. 我が国の保健衛生の現状を把握し、問題点を指摘し、その解決策について論ずることができる。
6. 人口統計、保健統計を理解し、既存資料を活用することができる。
7. フィールド調査などによるデータベースの構築、データ解析の情報科学的技法を修得し、公衆衛生活動に応用することができる。
8. 乳幼児から老人に至るライフステージの各段階にみられる健康問題を客観的に記述し評価することができ、組織的な活動による解決をすることができる。
9. 公衆衛生活動および実際の保健医療行政を説明することができる。
10. 社会保障、社会福祉制度の概要を説明することができる。
11. 国内及び国際的な健康問題や保健医療サービスに対応する組織や活動を理解し、現状に対する批判と望ましいシステムを考究することができる。
12. 公衆衛生活動におけるチームワークの重要性を認識し、協調的態度をとることができる。

III 講義項目と担当者

（別紙）

IV 推薦テキスト及び参考書

(1) テキスト

1. 公衆衛生がみえる 最新版（衛生・公衆衛生学ともに**指定教科書**） *メディックメディア* 本体 3,600 円予定
2. NEW 予防医学・公衆衛生学 改訂第 4 版 南江堂 本体 6,300 円
3. 公衆衛生マニュアル 2022 南山堂 本体 5,500 円
4. 疫学マニュアル 改訂 7 版 南山堂 本体 4,200 円
5. シンプル衛生公衆衛生学 2020 南江堂 本体 2,400 円

(2) 参考書

1. 厚生指の指標 臨時増刊 国民衛生の動向（最新版） 厚生労働統計協会 本体 2,450 円
2. 疫学の事典（日本疫学会監修） 朝倉書店 本体 15,000 円
3. はじめて学ぶやさしい疫学（日本疫学会標準テキスト）改定第 3 版 南江堂 本体 2,000 円
4. 産業医の職務 Q & A 第 10 版 産業医学振興財団 本体 3,000 円
5. 労働衛生のしおり（最新版） 中央労働災害防止協会 本体 7,500 円
6. ロスマンの疫学 第 2 版 篠原出版新社 本体 2,500 円
 （※6. の原著は“Epidemiology –An Introduction–” by K.J. Rothman Oxford University Press）
7. 「みんなの医療統計 12 日間で基礎理論と EZR を完全マスター（新谷 歩著）」 講談社 2,800 円
8. Modern Epidemiology Lippincott Williams & Wilkins
9. 疫学 医学的研究と実践のサイエンス *メディカルサイエンスインターナショナル* 本体 5,600 円
10. 医学的研究のための多変量解析 *メディカルサイエンスインターナショナル* 本体 4,000 円
11. 改訂版 分子予防環境医学 生命科学研究の予防・環境医学への統合 本の泉社 本体 10,476 円

V 評価方法

期末試験の成績によって、全学的な基準により評価する。なお、出席が 2/3 に満たない場合は、不合格とする。

	1 基盤的 資質			2 医師 としての 基本的 資質			3 コミ ュニケ ーション 能力			4 医学的知識										5 医学の実践										6 医学的(科 学的)探究				7 社会 貢献									
	問題解決型能力	情報技術	語学能力	社会人としての一般教養	倫理観	チーム医療	自己啓発	人間関係の構築	他者への思いやり	情報交換	細胞の構造と機能	人体の構造と機能	人体の発達、成長、加齢、死	疾病の機序と病態	検査・画像診断技術	基本的診察知識	疾病の診断・治療方法	EBZ の利用	生物統計、疫学	行動科学・医療経済	法令、研究倫理	患者尊厳	基本的臨床技能	臨床推論・検査所見・画像診断	診療録作成	治療選択	救急医療	緩和・終末期・看取りの医療	介護と在宅医療	患者説明	医療安全・感染予防	予防医学	副作用・薬害	プレセンテーション技能	和歌山県医療	保健制度	基礎医学研究	臨床医学研究	社会医学研究	研究成果の公表	研究倫理の実践	地域貢献	福祉活動
卒業時コンピテンス	レベルC	レベルC	レベルC	レベルC	レベルB	レベルD	レベルC	レベルC	レベルD	レベルD	レベルC	レベルC	レベルC	レベルF	レベルF	レベルB	レベルB	レベルC	レベルC	レベルD	レベルE	レベルF	レベルF	レベルF	レベルE	レベルE	レベルC	レベルC	レベルD	レベルD	レベルB	レベルC	レベルC	レベルC	レベルB	レベルD	レベルD	レベルC	レベルC	レベルE	レベルF		
衛生学 公衆衛生学	レベルC	レベルC	レベルC	レベルC	レベルB	レベルD	レベルC	レベルC	レベルD	レベルD	レベルC	レベルC	レベルC	レベルF	レベルF	レベルB	レベルB	レベルC	レベルC	レベルD	レベルE	レベルF	レベルF	レベルF	レベルE	レベルE	レベルC	レベルC	レベルD	レベルD	レベルB	レベルC	レベルC	レベルB	レベルD	レベルD	レベルC	レベルC	レベルE	レベルF			

講 義 日 程 表

衛生学・公衆衛生学

No.	月日	曜日	時限	項 目	担 当 科	担当
1	R5.4.18	(火)	4	衛生学総論	衛生学	藤吉
2	R5.4.18	(火)	5	環境と健康	衛生学	藤吉
3	R5.4.25	(火)	4	住居環境と健康	衛生学	竹村
4	R5.4.25	(火)	5	地域環境汚染と健康(1)(2)+地球環境の変化と健康	衛生学	藤吉
5	R5.5.9	(火)	3	作業環境アセスメント	衛生学	竹村
6	R5.5.9	(火)	4	作業環境と健康(1)	衛生学	東山
7	R5.5.9	(火)	5	精神保健	衛生学	吉益
8	R5.5.16	(火)	3	作業環境測定と評価	衛生学	河合
9	R5.5.16	(火)	4	産業保健における3管理と総括管理	衛生学	東山
10	R5.5.16	(火)	5	作業環境と健康(2)	衛生学	森岡
11	R5.5.17	(水)	1	母子保健	衛生学	永井
12	R5.5.17	(水)	2	学校保健(1)	衛生学	永井
13	R5.5.17	(水)	3	作業環境と健康(3)	衛生学	東山
14	R5.5.23	(火)	4	労働条件と健康	衛生学	竹村
15	R5.5.23	(火)	5	学校保健(2)	衛生学	鈴木
16	R5.5.24	(水)	1	国民栄養の現状	衛生学	鈴木
17	R5.5.24	(水)	2	公衆衛生学総論	公衆衛生学	牟礼
18	R5.5.24	(水)	3	実習班分け	衛生学・公衆衛生学	全員
19	R5.5.30	(火)	4	和歌山県における保健・医療対策	公衆衛生学	野尻
20	R5.5.30	(火)	5	疫学指標・記述疫学	公衆衛生学	牟礼
21	R5.5.31	(水)	1	疫学研究デザイン・疫学に必要な統計	公衆衛生学	牟礼
22	R5.5.31	(水)	2	因果関係・スクリーニング	公衆衛生学	西尾
23	R5.5.31	(水)	3	疾病予防(1)骨関節疾患	公衆衛生学	吉村
24	R5.6.7	(水)	1	人口統計・高齢者保健	公衆衛生学	牟礼
25	R5.6.7	(水)	2	研究の倫理	公衆衛生学 教養・医学教育大講座 (法学)	牟礼 神谷
26	R5.6.7	(水)	3	疾病予防(2)悪性新生物	公衆衛生学	牟礼

講 義 日 程 表

衛生学・公衆衛生学

No.	月日	曜日	時限	項 目	担 当 科	担当
27	R5.6.13	(火)	4	疾病予防(3)感染症	公衆衛生学	竹下
28	R5.6.13	(火)	5	疾病予防(4)個別化予防	公衆衛生学	牟礼
29	R5.6.14	(水)	1	疾病予防(5)循環器疾患	公衆衛生学	坂田
30	R5.6.14	(水)	2	社会福祉・社会保障	公衆衛生学	西尾
31	R5.6.14	(水)	3	医療保険制度	公衆衛生学	西尾
32	R5.6.19	(月)	4	実習	衛生学・公衆衛生学	全員
33	R5.6.19	(月)	5	実習	衛生学・公衆衛生学	全員
34	R5.6.20	(火)	4	実習	衛生学・公衆衛生学	全員
35	R5.6.20	(火)	5	実習	衛生学・公衆衛生学	全員
36	R5.6.21	(水)	2	災害時の公衆衛生学	公衆衛生学	牟礼
37	R5.6.21	(水)	3	公衆衛生学の将来展望	公衆衛生学	牟礼
38	R5.6.21	(水)	4	実習	衛生学・公衆衛生学	全員
39	R5.6.21	(水)	5	実習	衛生学・公衆衛生学	全員
40	R5.6.22	(木)	4	実習	衛生学・公衆衛生学	全員
41	R5.6.22	(木)	5	実習	衛生学・公衆衛生学	全員
42	R5.6.23	(金)	4	実習	衛生学・公衆衛生学	全員
43	R5.6.23	(金)	5	実習	衛生学・公衆衛生学	全員
44	R5.6.26	(月)	4	実習	衛生学・公衆衛生学	全員
45	R5.6.26	(月)	5	実習	衛生学・公衆衛生学	全員
	R5.6.27(火)~6.29(木) 1~5限 全日実習					

実習担当者

【衛生学】

藤吉 朗、東山 綾、竹村 重輝、鈴木 春満、松本 健治、河合 俊夫、

【公衆衛生学】

牟礼 佳苗、西尾 信宏